



王様推奨 南紀エリアお勧めツアーTOP

見どころ&学びのポイント

スケジュール <旅行金額の目安 約8,000円(航空運賃、宿泊代含みません)>
公共交通機関(バス・電車・飛行機)の時刻は事前に必ずご確認ください。

(プランの紹介)

1日目

09:05	東京(羽田空港)発 JAL1381便
10:15	南紀白浜空港着
移動	【とくとくフリー乗車券(明光バス)でお好みの観光地を巡り、南方熊楠記念館】 * 白浜バスセンター(湯崎)で購入 紀州博物館・三段壁・千畳敷・白良浜など(途中で昼食をはさみませ) 南方熊楠記念館 白浜温泉にて宿泊(白浜温泉旅館協同組合・白浜観光協会)

2日目

09:11	JR白浜駅から電車でJR紀伊田辺駅へ移動
09:24	JR紀伊田辺駅到着後、徒歩で南方熊楠顕彰館へ移動
10:00	南方熊楠顕彰館及び南方熊楠旧居を見学 * 多人数で事前予約をすれば、館長等からの解説が受けられます。
11:30	近くのすし屋で昼食(新鮮な魚介類を堪能)
12:30	闘鶏神社 扇ヶ浜(神島を望む) 田辺新地 高山寺(熊楠墓所)をめぐるウォーク(約8km)
16:00	宿にチェックイン(素泊まりであれば、田辺駅前・味小路に繰り出し、割烹や居酒屋で地域の食材を満喫)

3日目

09:00	旅館出発
09:25	JR紀伊田辺駅から路線バスに乗り牛馬童子口バス停で下車
10:26	牛馬童子口バス停から小広王子まで熊野古道ウォークを楽しむ(行程約9km・歩行時間約2時間20分・休憩除く) * 熊野古道ウォークレポート【4】・【5】 * 牛馬童子像や熊楠が神社合祀反対運動により守った野中の一方杉などを楽しみながら、ゆっくりと古道ウォークを楽しんでください。
15:53	小広王子バス停からバスでJR紀伊田辺駅へ移動
17:12	JR紀伊田辺駅着
18:15	JR紀伊田辺駅から路線バスで南紀白浜空港へ
19:30	南紀白浜空港発 JAL1386便(季節により運行時間・便等が変わります)
20:35	東京(羽田空港)着 ご自宅へ

3日目には別プランとして次の本格的な古道ウォークも楽しめます。

06:25	JR紀伊田辺駅からバスで滝尻バス停へ
06:59	滝尻から牛馬童子口バス停まで熊野古道ウォーク(行程約11.7km・歩行時間4時間30分・休憩除く)
16:06	牛馬童子口バス停からバスでJR紀伊田辺駅へ移動
17:12	JR紀伊田辺駅着



粘菌、菌類の研究、民俗学、宗教学に特異の足跡を残し、自然保護の立場から神社合祀反対運動を起こすなど、行動の人でもあった南方熊楠。
熊楠が半生を過ごした南紀において、南方熊楠記念館、南方熊楠顕彰館、南方熊楠旧居や熊楠が粘菌などを採取した観察地、神社合祀反対運動によって今の世に残した熊野古道沿いの「野中の一方杉」など、この地でしか味わえない、熊楠三昧のツアーとなっています。

また、南紀白浜の景勝地や、南紀地方の新鮮な魚介類も堪能していただける、まさに、「学びと食」の一大プランです。



(南方熊楠旧居)



王様推奨 南紀エリアおすすめツアーで行く 南方熊楠を訪ねる旅 見どころ&学びのポイント

王様推奨 南紀エリアお勧めツアーTOP

このプランのスケジュール

南方熊楠記念館

熊楠の没後、遺族からそのいくつかの資料の寄贈を受け、南方熊楠の遺した偉大な業績と遺徳をしのびその文献、標本類、遺品等を永久保存し、一般に公開するとともに博物学の巨星を後世に伝え、学術振興と文化の進展を目的として昭和40年に開館しました。南方熊楠の素晴らしい業績と遺品、遺稿など750点を展示。少年時代から晩年までが各コーナーごとに紹介されていて、中でも粘菌類の標本の種類は、世界一といわれる程、群を抜いています。

チェックしよう 南方熊楠記念館



南方熊楠顕彰館

南方熊楠邸に遺された蔵書・資料を恒久的に保存し、熊楠に関する研究を推進し、その成果の活用を図り、熊楠について顕彰するための施設として、南方熊楠顕彰館が平成18年5月14日にオープンしました。顕彰館では、所蔵資料を大切に保存しつつ、広く所蔵資料を公開しています。

チェックしよう 南方熊楠顕彰館



1F

玄関ホール：展示パネルやタッチパネル等により、熊楠の生涯や業績、田辺や熊野とのかかわりを紹介します。

学習室：講座や講演会、企画展、資料映像の映写等を開催します。

収蔵庫：熊楠が遺した約25,000点に及ぶ所蔵資料が収蔵されています。

2F

交流・閲覧コーナー：パソコンでの所蔵資料の検索やデジタル画像による閲覧ができ、また、熊楠関連図書や自筆資料の複製資料(マイクロフィルム写真)が配架され、自由に閲覧できます。

南方熊楠旧居

顕彰館のオープンとともに、南方熊楠邸の公開も再開いたしました。顕彰館では、熊楠についての情報や学ぶ場を提供し、南方邸では、熊楠の生活と研究の拠点であった場所、空間を実感していただけます。南方熊楠は1916(大正5)年からこの邸に住んで、菌類や植物、民俗学などの研究に打ち込みました。敷地面積は約400坪。邸内には大きな楠や柿、みかんの木があり、柿の木から新種の粘菌を発見するなど、庭は研究園そのものでした。熊楠の長女文枝さんの亡きあと、その遺志で田辺市に寄贈され、傷みが激しかった建物を顕彰館の建設に合わせて熊楠存命当時の姿に復元しています。



世界遺産「熊野古道」中辺路ルートと「王子社」

京の都から見て真南に位置する熊野は、まさに極楽浄土。古の人々は往復約1ヶ月もかけて、蘇りを願い、祈りの地「熊野」を目指しました。その道中数キロ間隔に祀られているのが「王子社」。これは熊野の御子神をお祭りしたもので、道標の役目も果たしながら、当時は貴族たちが歌会なども催していたそうです。このほか、目的地に到達することができず、道中亡くなってしまった人々を供養する「行倒れの地藏さん」なども点在しています。

チェックしよう 熊野古道ウォークレポート

